

小学生との掛け合いから生まれる活気溢れるコミュニケーションと潜在能力の発掘

**in 東北** 2014年10月22日(土) 仙台市立中野小学校・名取市立増田小学校  
東北の子供たちに元気になって貰いたくて、7月と10月の2回、6

つの学校にいきました!まず最初に「大阪と聞いて何が思い浮かぶ〜?」と質問したら、6校とも帰ってきた答えは「たこ焼きー!」「お好みー!」「通天閣ー!」「グリコー!」と元気な声。しかし、USJが大阪にあるとは知らないみたい…今回も子供たちも先生方も大爆笑。コミュニケーション能力もアップしていただけだと思います!



ネタ仕込みに夢中になる児童



東北の子供たちの笑顔に触れて元気をもらってきました!

**in 大阪** 2014年11月15日(土) 大阪市立山之内小学校・11月16日(日) 茨木市立沢池小学校



山之内小学校は参観日。見たことのない児童の表情に担任の先生も喜んでおられました

秋は小学校でも行事の多い季節。今回の笑学は、小学校での参観や文化祭といった保護者の方にも観て頂けるイベントでの開催となりました。「ワークショップ」の趣旨を説明する前から、目を輝かせている児童や、はじめはモジモジしていたのに、始まると、とっても元気になる児童など、さまざまでしたが、皆んなが同じ方向を向いて「笑い」に夢中になっている姿を見て、根本は皆同じ!「笑い」に対する潜在能力を秘めていることに気づかされました。週末の連日開催ということでしたが、スタッフの皆さんとも新鮮な空気を共有できたように思います。



沢池小学校でのワークショップは文化祭のイベントの一つとしての新しい試みでした



**笑ライブ 第20号**

walive

「笑ライブ」とは…

「笑」、「商」、SHOW(見せる)=LIVEという意味と、「WA」の意味する平和の「和」、みんなで手を繋ぐ「輪」の思いから名称にしました。

2015年3月

【発行】  
NPO法人関西演芸推進協議会 編集部  
〈事務局〉  
大阪市浪速区難波中1-10-4  
千房株式会社内  
TEL.06-6633-1430  
FAX.06-6633-1435  
http://www.walive.org  
info@walive.org

INFOMATION

会員の皆様には、いつも当協議会へのご理解、ご協力をいただきありがとうございます。昨年10月には「関西演芸しゃべり話芸大賞」も3回目を開催することができ、また新しいグランプリ受賞者が誕生しました。第4回はどのような演者がどんな芸を見せてくれるのか…? また、小学生を対象にした笑学も皆さまのご協力のもと、ご好評をいただき、児童へのコミュニケーション教育という役割も少しずつカタチになってきているように思います。本年もまた新しい取り組みを行いながら、確かな歩みを踏み、「芸人を育て、よりよき鑑賞者を育てる」という趣旨のもと、活動を推進してまいりますので、皆さまのご理解、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。

CONTENTS

☆3D落語	……………1頁
☆第3回関西演芸しゃべり話芸大賞「優勝決定戦」	……………2頁
☆新春例会	……………3頁
☆「笑学」実施報告	……………4頁
☆「笑学」のご案内 他	……………4頁

Report **3D落語**

2014年11月22日(土)  
淀屋橋～道修町～天神橋1丁目

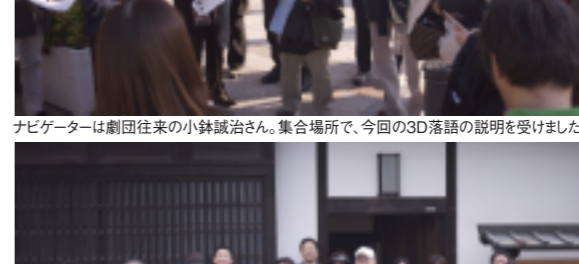
天満宮界隈が囁の舞台。落語「初天神」を大正時代のレトロ建築で鑑賞!

今回の3D落語は露の都さんの落語「初天神」を題材とし、囁の舞台をたどって淀屋橋から道修町、中の島公園を通って天神橋までの散策となりました。父と息子が道修町あたりを歩き、たどり着いた「だんごや」でのお話。落語鑑賞の会場は、築約90年というレトロなフジハラビル。ビルのオーナーの藤原さんから、ビルの歴史やご自身が大学での教育を辞してまで、ビルの後継者となつたいきさつや、存続させるための工夫と苦勞、今現在のビルの活用例などお話しされました。落語会場までの道中は、重要文化財である今の阪大医学部前身となる「適塾」を見学。偉大な歴史人物がこの建物で寝食を共にし、学んだ貴重な史跡。時代を思わせる柱や梁の古材の厳存や刀でつけられたと思われる傷跡など、当時の暮らしと学問の世界を垣間みる事が出来ました。また、普段ビジネス街として凛と佇む道修町ではこの日「神農祭」で大変なにぎわいで、出店にはいつもの街と違う表情を見たり、甘い匂いや味覚を刺激するソースの香りについて足をとられながらの散策…3D落語のおいしいサプライズです。

大阪にいなながら普段は気がつかない風景を楽しみながら、淀屋橋から天神橋までの落語の世界と現代社会に生きる私たちのちょっとした物語もつくりだされたりの満足度の高いイベントです。まだ参加されたことのない会員のみならず、是非、次回をご一緒しませんか?新しい世界観にときめきを感じることも間違い無しですよ!



露の都さんによる落語「初天神」を鑑賞しました



ナビゲーターは劇団往來の小針誠治さん。集合場所で、今回の3D落語の説明を受けました。



界隈の所縁の建物などを見学



緒方洪庵が江戸時代後期に開いた蘭学の私塾「適塾」をバックに記念撮影



大正時代のレトロ建築「フジハラビル」歳月を経たからこそ漂う「風格」がここにはありました。

**アットホーム**

まりわ

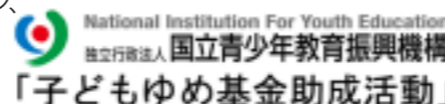
漫画家を招聘して勉強中の希咲まりわさんに作る連載がスタート!「笑い」の新しい空気を感じて頂ければ嬉しいですね!ご感想などもお寄せください!

**笑学** **笑いを通してコミュニケーション**

漫才のワークショップでボケとツッコミ体感!  
子どもたちのコミュニケーション能力の向上を図ります。

いじめや学級崩壊など教育現場では様々な問題がありますが、その原因の一つに子どもたちのコミュニケーション能力の不足があると私たちは考えています。伝えたいことをきちんと伝えることが出来るなどコミュニケーションがしっかり取れば、いじめにつながりそうな出来事も未然に解決されるのではないのでしょうか。そこで、まさにデジタル世代の小学生に対して、関西の演芸文化の真骨頂である漫才からボケとツッコミを体感してもらい、相手の話を聞き、話の展開を読む力や互いの信頼関係を構築していくアナログのコミュニケーション力「笑学」を体験できるワークショップを企画しています。この企画は、私たち関西演芸推進協議会のプロデュースにより、無償にてワークショップを実施しております。

主催: 特定非営利活動法人関西演芸推進協議会  
協力: 相互タクシー(株)、(株)小学館集英社プロダクション、(株)寺岡精工、千房(株)  
対象: 大阪府下の小学校  
(募集中※応募校多数の場合は抽選にて決定)



関西の上質な演芸文化のために…

上方演芸の文化に触れ、共に育む活動と一緒にしませんか? 関西演芸推進協議会では、関西の演芸を盛り上げ、若手芸人の活躍を支援し、演芸の伝統を守り次世代へと継承していくために様々な活動をしていきたいと思います。

公式ウェブサイトもご覧ください。  
<http://www.walive.org>



関西演芸推進協議会は文化庁の関西演芸文化事業に参加しています。

**編集後記** 年が開けたと思いきや、気がつけばもう3月。月日の経過の早さに少し戸惑いを感じます。巷の新聞記事やTVのニュースでは暗いニュースに心を痛めたりしています。しかし、昨秋に小学校での笑学に参加して、本来の子どもの活気、元気、勇気と出会い、人とのつながりの素晴らしさに感動を覚えました。身近な環境にも共に笑える機会、まだまだあるような予感がしています。(編集部・廣田)

# 第3回しゃべくり話芸大賞「優勝決定選」

2014年10月11日(土)  
於)大丸心斎橋劇場

## 第3回グランプリ獲得は「トライアングル」に決定!

9月20日(土)に道頓堀ZAZA POCKET'Sで行われた予選を通過した10組による競演「第3回しゃべくり話芸大賞・優勝決定戦」。それぞれ持ち時間7分での個性が光る芸に、満席となった会場も笑いで溢れ、審査も難航。また今回の決勝戦は、テンポのいい掛け合いが特徴だったように思います。その中で見事グランプリを受賞したのは火事現場のインタビュアーと消防士のコミカルな掛け合いで笑いをとった「トライアングル」。準グランプリには「土方兄弟」が受賞しました。どちらの組もまさに「話芸」という領域での最大限「**話芸とは、会話のおもしろさを磨き、芸にしたもの**」



準グランプリ受賞は「土方兄弟」に。

パフォーマンス。この大賞のテーマである「話芸とは、会話のおもしろさを磨き、芸にしたもの」に添っての受賞となりました。受賞の発表を受け、メディアプロデューサーの澤田隆治先生が総評され、厳しい予選を通過してきた芸にも、まだまだ課題があると厳しいご意見でしたが、決戦大会に選ばれなかった出場者も含め、新しい活躍の道へと進んでいって欲しいと思います。また、審査が行われる間、舞台はゲストのジェネシスオプエンターテインメントの皆さんによる車いすダンスを楽しませて頂きました。車いすダンサーと健常者ダンサーとの見事な舞踊にうっとり心を奪われました。話芸と芸術を同時に鑑賞できた素晴らしい秋のひとつ。第4回はどんな話芸に出会えるのか?今から楽しみです。最後に、予選・本戦にご観戦いただきました皆さまに改めて御礼申し上げます。

パフォーマンス。この大賞のテーマである「話芸とは、会話のおもしろさを磨き、芸にしたもの」に添っての受賞となりました。

受賞の発表を受け、メディアプロデューサーの澤田隆治先生が総評され、厳しい予選を通過してきた芸にも、まだまだ課題があると厳しいご意見でしたが、決戦大会に選ばれなかった出場者も含め、新しい活躍の道へと進んでいって欲しいと思います。

また、審査が行われる間、舞台はゲストのジェネシスオプエンターテインメントの皆さんによる車いすダンス



グランプリを受賞した「トライアングル」には賞金30万円とラジオ大阪の番組出演の目録が渡されました。



ジェネシスオプエンターテインメントによる車いすダンス

大会に際し、審査員の皆さまからいただいた「メッセージ」をご紹介します!

話芸の極意は内容のある話しをスピードと間で進め加えてフレッシュさと笑いに対する熱意。ネタに共感が感じられればお客様は満足する。笑いの創意・工夫を尊重し合い競って欲しい。

林千代 (シナリオライター)

「しゃべくり」のおもしろさで勝負する大阪ならではのユニークなコンクールの3回目。口から先に生まれたような「おしゃべり達人」が誕生する予感がしています。

澤田隆治 (メディアプロデューサー)



メディアプロデューサーの澤田隆治先生からは大会後、総評をいただきました。

大会の審査をして思うことは、この話芸の上手さは天才か素質か努力か場数なのかと。いずれにせよ、決勝戦の重圧を越えての戦いに勝ったものこそスターの座を与えられるのだ。

中井政嗣 (関西演芸推進協議会 専務理事)

笑いの基本話芸を極めるこの大会から未来のお笑い界の担い手が現われるのは間違いないと思います。熱い戦いを期待しています。

大池晶 (漫才作家)

どんなにおもしろいネタであっても、きちんと伝わらなければ笑いにはつながりません。お客さんに、しっかりと「言葉」が伝わるよう、届けられるよう、稽古に励んで下さい!

本多正識 (漫才作家)

第3回本戦のチラシ

Report

# 豪華5大お年玉企画 新春例会

難波スイス会・心学明誠舎 共催

2015年1月26日(月)  
於)スイスホテル南海大阪

## 3団体の共催で新春をスタート!

1月26日(月)恒例の新春例会が開催されました。今回も難波スイス会・心学明誠舎との3団体の共催で、200名超が集う豪華な宴となりました。オープニングは雅楽で厳かに新春の門出を飾っていただき、会員で金剛山葛木神社宮司の葛木裕さんには新年のご祈禱をいただきました。

新しい年の幕開けに相応しいオープニングの後は、毎年好評の「マクロ解体ショー」。解体された後は美味しいお刺身やお寿司をいただくことが出来ました。また、ゲストには、中村泰士先生がご自身が作曲された「北酒場」を披露され、貴重なステージを楽しませて頂きました。

宴も闌となる中、「トライアングル」の漫才や、恒例の豪華賞品を求めて行われたじゃんけん大会と、ステージと宴席を繋ぐ盛り上がりは勢いを増し、会場の皆さんの昂揚する表情には、3団体の今年一年も明るく開かれている予感がします。

各方面でご活躍される皆さまに、2015年が素晴らしい年となりますことをお祈りすると共に、お忙しい中、ご参加いただき、ありがとうございます。また、本年も様々なイベントを企画・開催してまいりますので、引き続きのご協力・ご支援を賜りますようお願いいたします。



大起水産によるマクロの解体ショー。中継アナウンスは青芝フック師匠が大好演



金剛山葛木神社宮司の葛木裕さんにご祈禱いただきました。



艶やかに…福娘と記念撮影!



吉本芸人と世界のパフォーマーによる特別講演を田中専務と澤田隆治先生がプレゼンテーション



作曲家の中村泰士先生と叶麗子さんもゲスト出演



心学明誠舎を代表して下野謙専務理事が挨拶



難波スイス会は網干輝雄会長によるご挨拶



しゃべくり話芸大賞グランプリ受賞のトライアングル

Report

# 笑ららぶ 清水宏の世界の中心でミャーと叫ぶ! 韓国・台湾コメディチャレンジ!!

2015年2月14日(土)  
大阪国際交流センター

今回、劇団往来さんのご紹介で「ハイテンション芸人」清水宏さんをお招きして、笑ライブを開催いたしました。すさまじいエネルギーの持ち主との触れ込みで、年齢的にいけるだろうかと変な心配もしていましたが、2時間強(間に10分ほどの小憩)の舞台があっという間。たった一人で、話芸だけで2時間。正直感動しました。観客の心理をひきつけ続ける、緻密さと、原始的な笑いを巧みに組み合わせたコメディのチカラ。ハイテンションから観客も大いにエネルギーをもらい、元気になりました。「素晴らしい舞台」でした。

清水宏さんプロフィール

- ◆愛知県出身。
- ◆早稲田大学演劇研究会を母体とした山の手事情社出身。
- ◆日本放送「オールナイトニッポン」第2部のパーソナリティを務める。

その語、舞台・テレビ・ラジオなどで活躍中。

